

## 送辞

冬の寒さも和らぎ生命の息吹が感じられる季節となりました。

卒業生のみなさん

ご卒業おめでとうございます。

在校生一同心よりお祝い申し上げます。

スクーリングをはじめ、中央祭、

部活動等、みなさんは私たちの良き先輩

として学校生活をリードしてくださいました。

単位制による通信制の課程という

他とは違う学習形態だからこそ

学べたこと、苦勞したことなど

たくさんあったと思います。

「決意・計画・継続」という

大宮中央高校の三つの精神を胸に

レポートやスクーリングに

真剣に取り組む姿に私たちは

多くを学びました。

大宮中央高校での生活を無事に

成し遂げた今、皆さんの心は

満足感でいっぱいだと思います。

これからは本校で学び身につけた

知識や技術、様々な教訓などを

活かしてそれぞれの夢に向かって

大きな一歩を踏み出してください。

私たち在校生も皆さんの

素晴らしい姿勢を見習って

頑張っていきたいと思えます。

最後に卒業生の皆さんの

ご健康とご活躍をお祈りして

送る言葉といたします。

令和二年三月五日

卒業生代表

西井

完治

## 答辞

春風が心地よく感じられ、明るい春の日差しが私たちを照らす今日、私たち62名は、「大宮中央高等学校」を卒業いたします。

私たち卒業生のために、厳しい状況にもかかわらず、御配慮の下、卒業式を挙行していただき、ありがとうございます。

また御多忙の中、御出席くださいました校長先生をはじめ諸先生方、保護者の皆様に、卒業生を代表して御礼申し上げます。校長先生をはじめ皆様から、力強い励ましやあたたかいお言葉を頂き、身の引き締まる思いです。

今、「大宮中央高等学校単位制による通信制の課程」で過ごした日々を振り返ると本当に色々なことが思い出されます。私たちは一人一人が様々な状況の中で、大きな期待と、同じくらい大きな不安を抱きながら入学してきました。

私ごとですが、病気の治療をしながら始まった学校生活、最初は毎日が戦いでした。一週間に一度のスクーリングに向けて家でレポートを仕上げることは想像以上に大変で、心が折れそうになることもありました。しかし、それと同時に自学自習の大切さを改めて学ぶことができ、学ぶことの楽しさも感じるようになりました。

また、二〇一九年から務めた生徒会長、学校の代表として参加した生活体験発表会、旅行記を発表した中央祭。大きな舞台が苦手だった自分分は、毎回これ以上ない緊張感に襲われました。しかし、これからは同じくらい大きな達成感がついてきました。

幾多の困難もありましたが、このようにして卒業の日を迎えることができたのは、先生方の存在があったからだと思います。先生方はいつも私たちを見守ってください、時には優しく、時には厳しく、的確なアドバイスをしてくださいました。この支えがあったからこそ、私たちはこの「単位制による通信制の課程」を無事に終えることができたのです。心から感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、共に同じ時間を過ごした「友人たち」や、常に私たちのことを一番に考えてくれ、いつも信じてくれた「家族」にも、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。これからの人生を考えると、まだまだ期待や不安が入り交じっています。そんな時も大宮中央高等学校の心構えである三つの『K』、「決意」「計画」「継続」の下で培ってきた知恵と力を駆使し、輝く未来へ邁進していきたいと思っています。

最後になりますが、御列席の皆様のご健勝と、大宮中央高等学校のさらなる発展を祈念し、卒業生の答辞といたします。

令和二年三月五日

卒業生代表

石川 満久